



さとやま

今月の見どころ

春の里山花盛り



このところ、年々春の訪れが早くなりますが、今年もいつにも増して気温の上昇が進んでいます。平地のソメイヨシノは3月下旬にはピークを迎え、4月には残らないかもと予想されています。里には、ヤマザクラなど、少し開花の遅い桜もあるため、上の写真のような風景も上旬には楽しめるでしょう。

足元には、里全域で色々な種類のスミレがみられます。

また、センターゾーンでは、町中の道端や草むらで普通に見られる花に混じって、ムラサキサギゴケ、カキドオシ、ヤマネコメソウ、ミツバツチグリなど里ならではの花を見つけることができます。

サブゾーンでは、サルトリイバラ、アケビ、ムラサキケマンなどの山の花が目を楽しませてくれます。

万灯山山頂では、フデリンドウが妖精の足跡に例えられるように、点々と花をつけます。

こんな春の花たちを探して、里を散策しませんか。



ムラサキサギゴケ



カキドオシ



ヤマネコノメソウ



ミツバツチグリ



サルトリイバラ



アケビ



ムラサキケマン



フデリンドウ

里の生き物紹介

里のスミたち

春のいきものふれあいの里には、色々な種類のスミレが見られます。花の形が、大工の使う道具「墨壺（すみつぼ）」の形に似ていることが名の由来とされています。

スミレ

里では、ビオトープガーデンや万灯山山頂などで4～5月によく見られます。花は濃い紫色で、葉は細長く、葉柄に翼があるのが特徴です。



ツボスミレ



里では4月頃、トンボの里や万灯山へ向かう道などでよく見られます。

昔、庭のこと「坪（つぼ）」と呼んでいて、どこにでもあるという意味を表します。

花は小さくて色は白く、葉はハート型です。地上に茎が出て、茎に葉や花が付きま



タチツボスミレ

ツボスミレと同じで地上の茎に花や葉が付きま

花が終わると、茎が大きく立ち上がることから名がつけま

した。

里では、長い期間一番多く見られるスミレです。

花はうすい紫色で、ハンノキ広場では、早いときは12月頃から見られ、3月頃からトンボの里や万灯山へ向かう道でも咲き始め、5月頃まで咲き続けます。

その後も咲かない花、「閉鎖花」をつけ、夏ごろまで実が付きま

す。葉は、タチツボスミレと同じハート型です。



ニオイタチツボスミレ



里では、3月頃中央広場上の道で咲き始め、トンボの里や万灯山山頂付近で、5月頃まで見られます。

葉はハート型で花のあと茎が立ち上がるのはタチツボスミレと同じです。

花は濃い紫色で、鼻を近づけると、よい香りがすることから名がつけま

コスミレ



花は薄い紫色で3月中・下旬の比較的短い期間しか咲きません。

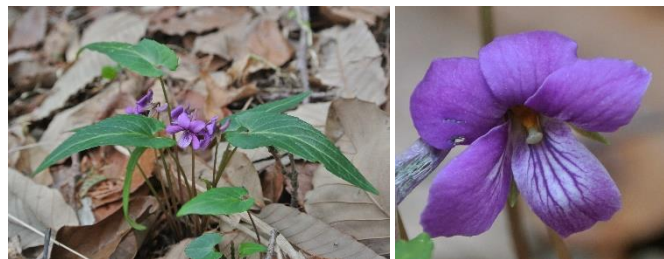
葉はハートより少し長いほこ型で、地上に茎はありません。名前ほど小さくはありません。

このスミレは、里ではなぜかセンターゾーン藤棚横のガードレール下、コンクリートの隙間にだけ見られます。あまり状態がよくありません。最近では年々株数が減っているようです。

ヒメスミレ

サブゾーン、蝶の小径と野鳥の森で、3月下旬から4月中旬頃の比較的短い期間に見られます。

スミレに似ていますが、全体に小さく、花は濃い紫色、地上に茎はなく、葉はほこ型で、葉柄に翼はありません。



フモトスミレ



蝶の小径で、4月の比較的短い期間に見られます。

花は白色で小さく、タチツボスミレに似ていますが、地上に茎がなく、葉脈に白い筋があることで見分けられます。

マキノスミレ

かぎ万灯の原っぱの、万灯山山頂へ向かう道で、3月下旬～4月上旬の非常に短い期間に1～3株ほど見つかります。

花は薄い紫色、葉はほこ型で、出始めは垂直に立つことが多いようです。



さとやまニュース

3月、小草池の耐震工事が終わり、水が入りました。するとさっそく水鳥たちがやって来ました。留鳥のカルガモの他に、コガモやキンクロハジロ、オシドリの姿も見られました。今年の冬には、元のにぎわいが戻ることを期待しています。



カルガモ



コガモ



キンクロハジロ



オシドリ

3月の行事紹介



3回講座の「竹炭焼き」を開催し、神本 晃氏・河野俊治氏を講師に招きご指導いただきました。特に、新型コロナウイルスの感染拡大防止による自粛ムードとあって屋外だけの開催となりましたが、窯から竹炭を出したら、とても出来ばえの良い竹炭になっていました。焼き加減が目で見えないため、講師からはとても難しかったと聞きましたが、とても楽しく良い経験を得ました。

4月の行事予定

5日(日)	春が旬“タケノコ”掘りⅠ ※注1	30名	AM9:30~11:30	当園職員
12日(日)	春が旬“タケノコ”掘りⅡ ※注1	30名	AM9:30~11:30	当園職員

◎内 容 ~ 里山の竹林を整備しながら、タケノコ掘りをします。

19日(日)	万灯山へ妖精の足跡を探しに行こう	20名	AM9:30~15:00	高須 桂子
--------	------------------	-----	--------------	-------

◎内 容 ~ 万灯山までハイキングしながら、楽しく「春の生きもの」を観察します。

※注1の春が旬“タケノコ”掘り「Ⅰ」、「Ⅱ」は、両日への参加はできません。

5月の行事予定

3日(日)	雑草で紙をすいてみよう	20名	AM9:30~11:30	礒貝はるみ
10日(日)	昔ながらの稲作(田植え)しようⅠ ※注2	50名	AM9:30~11:30	当園職員
17日(日)	かわいい苔玉を育てよう	30名	AM9:30~11:30	長谷部弥生

※注2の稲作(田植え)は、(稲刈り)(脱穀)の3回講座です。うち2回受講者に限ります。

- ◆ 参加受付は、各講座の3週間前の午前8時30分から先着順で来園及び電話にて受付します。また、申込は本人、もしくはその家族までとします。
- ◆ 天候や少数(6名以下)などによる講座の中止、又は受講内容の変更をする場合があります。
- ◆ 原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。

西尾いきものふれあいの里

◆ ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆ 休 日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆ 発 行 西尾市環境部環境保全課